

Press Release



TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.

2024年1月12日

各 位

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 合田 一郎
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
証券コード 8616 東証プライム・名証プレミア

東海東京証券 「JICA SDGs 債」(第78回国際協力機構債券) 引受けのお知らせ

当社の子会社である東海東京証券株式会社による、個人向け債券「JICA SDGs 債」(第78回国際協力機構債券)の引受けについて、お知らせいたします。

以 上

2024年1月12日

各位

東海東京証券株式会社
名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

「JICA SDGs 債」(第78回国際協力機構債券) 引受けのお知らせ

当社はこのたび、独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」という)が発行する個人向け債券「JICA SDGs 債」(第78回国際協力機構債券)(サステナビリティボンド[※]、5年債80億円)の引受けにおいて、共同主幹事を務めましたのでその概要についてお知らせいたします。



JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を一元的な実施機関として、開発途上国の持続的発展支援に向けて日本政府の国家戦略等における重要な役割を担っております。

「JICA SDGs 債」は、JICAがSDGsの達成に向けて、開発途上国の社会課題の解決を支援するために行う事業に資金が使われる個人向けの債券です。個人ができる国際協力の選択肢として、サステナビリティボンドへの投資を通じたひとりひとりのアクションが世界を変える力になります。

「JICA SDGs 債」の発行により調達した資金は、JICAが行う有償資金協力事業に充当される予定です(但し、石炭火力発電事業への出融資を除く)。有償資金協力事業すべてが社会的課題の解決に貢献する事業であり、一部は環境面の課題解決にも貢献する事業が含まれます。

当社は、地域・人を大切にする信念をもつ金融グループとして行動指針「“Social Value & Justice” comes first」を掲げ、金融・資本市場の担い手としてSDGsへの貢献の重要性を認識し、持続可能な社会の実現、SDGsの達成に向けて取り組んでいます。また、金融事業を通じたグリーンでサステナブルな社会の実現を重点課題と捉え、SDGsへの取組を推進する証券会社として、引受け・販売活動を通じたESG投資の促進や情報発信を実施しています。当社は、今回の「JICA SDGs 債」の引受けを通じて、グローバルな視点で社会的課題および環境課題の解決に向けて貢献していくとともに、本SDGs債の発信を通じてSDGsの実現に向けた機運醸成を推進していきます。

個人向け「JICA SDGs債」(第78回国際協力機構債券) 概要

発行体	独立行政法人国際協力機構
名称	第78回国際協力機構債券
年限	5年
発行額	80億円
利率	0.294%
発行価格	額面100円につき金100円
主幹事証券会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、SMBC日興証券、東海東京証券、野村証券、楽天証券
その他取扱証券会社	池田泉州TT証券、十六TT証券、とちぎんTT証券、西日本シティTT証券、浜銀TT証券、ほくほくTT証券、ワイエム証券
条件決定日	2024年1月12日(金)
払込日(発行日)	2024年2月2日(金)

※ サステナビリティボンドとは、調達資金の用途が、社会的課題の解決に資するものであること(ソーシャル性)及び環境改善効果があること(グリーン性)の双方を有する債券です。JICAのサステナビリティボンドは、独立した第三者機関であるMoody'sより、国際資本市場協会(ICMA)が定義するサステナビリティボンドの特性に従った債券である旨のセカンドパーティーオピニオンを取得しています。

以上

本件に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

東海東京フィナンシャル・ホールディングス 広報・IR部 03-3517-8618